

世界を 繋ぐ仕事



エクシオグループ株式会社



RECRUITING GUIDE 2024

Message

社長メッセージ

「世界を繋ぐ」という仕事



お客様への新たな約束を 一緒に共有していきたい

2021年10月、私たちは、約30年間慣れ親しんだ「協和エクシオ」から「エクシオグループ」へと社名を変更しました。協和エクシオとして積極的なM&Aで事業領域を広げてきた結果、グループを構成する企業数は100社を超え、売上規模は10年前の2倍以上へと急拡大しています。

これからさらなる成長を目指すために、多様な強み、専門的な知見を持った企業群とのシナジーが欠かせません。これまで以上に一体感を持ち、グループ全体の価値創造を最大化していきたい。新社名「エクシオグループ」には、そうした期待と強い決意が込められています。もともと「協和」にあった「協力・和合」という意味を「グループ」としたことことで、グローバルに向けた成長を目指す姿勢も示すことができたのではないかと考えています。

さらに、2022年5月には、私たちが社会の中で果たすべき役割として「パーパス」を公表しました。それが「つなぐ力」で創れ、未来の“あたりまえ”を。」です。

パーパス策定にあたっては、エクシオグループの「社会的存在意義」とは何かを、エクシオグループにかかるすべての人たちで考える必要がありました。そこで、グループの全従業員を対象にアンケートを行い、約9,000名もの回答一つひとつに目を通しました。また、

お客様やビジネスパートナーなど、エクシオグループを支える社外の方々の意見にも耳を傾けました。さまざまな“思い”をもとに社内で議論を重ね、生まれたパーパスは、これから私たちが果たすべき社会への約束となります。

これから一緒に働く皆さんとも、「私たちが未来のあたりまえを創っていく」という志を共有していきたいと考えています。

誠実な姿勢はそのままに 新たな付加価値を生み出していく

私たちのグループの強みは、多くの現場経験を通じて培ってきた、高度な技術力です。

企画・設計から施工・運用・保守まで一貫したサービスを全国で展開する「通信キャリア事業」。通信建設で鍛えた電気・土木技術を活かし、社会インフラの建設に貢献する「都市インフラ事業」。ICT(情報通信技術)を駆使して多様なニーズに応える「システムソリューション事業」。幅広い事業領域の“引き出しの多さ”が、お客様のさまざまな期待に応える力となっています。

お客様の約束に向き合う“誠実”な姿勢もまた、私たちグループの大いな強みでしょう。工事を進める過程では、あらゆる困難とぶつかります。しかしどんなに大変な課題であろうと「決して逃げず、チー

ムの仲間と乗り越えよう」という思いが生まれるのが、エクシオのカルチャー。社内のメンバーはもちろん、ビジネスパートナーの皆さんと「一緒に約束の期日を守っていこう」と協力し合っていきます。そのやり抜く姿勢があるからこそ、お客様から「エクシオさんに任せると、最後までいい仕事をしてくれる」とうれしいお言葉をいただくことがあります。そうした信頼が、私たちの存在を強くしてきたのです。

ただ、これからは、さらなる付加価値の提供が不可欠です。丁寧に誠実に仕事に向き合う社風を大切にしながらも、お客様自身が気づいていないような課題に目を向け、イノベーティブなアイデアを提案していくなければいけません。設計・工事まで終えて満足するのではなく、運用・保守を通じてお客様の悩みや解決すべき“負”に気づき、次のビジネスチャンスに繋げていく、そんな姿勢が求められていくでしょう。

チームでやるから 最高のパフォーマンスに繋がる

近年はM&Aや外部連携に力を入れ、新たなビジネスパートナーとの繋がりを積極的に生み出しています。グローバル展開にも力を入れ、海外のチームメンバーと意見を出し合い、助け合いながら仕事

をしていく姿は、国内事業所でもごく日常の風景になりつつあります。グループ内の人財育成に向けては、ワークショップや研修、評価制度や表彰制度など、従業員一人ひとりの挑戦を後押しする、さまざまな施策に取り組んでいます。

エクシオグループには幅広い事業領域があります。だからこそ、「こんな仕事にチャレンジしたい!」という思いを実現できるフィールドがあります。これから働く若い皆さんこそ、時代を変えていくエネルギーを持っている。「仕事を通じて、社会の役に立ちたい」という熱意があれば、エクシオグループにはその思いを形にしていく技術力とチーム力があります。多くの人を巻き込み、ときに意見をぶつけ合いながらも、同じ目線で課題に向かっていくチームワークの醍醐味を、ぜひ一緒に味わっていきたいです。

私たちの仕事は、一人では成り立ちません。多様な個性と強みを持った人財が集まり、それぞれの良さを尊重してはじめて、最高のパフォーマンスに繋がっていきます。チームでやるから、本来以上の個人の力が発揮される。エクシオグループならではの環境づくりを、これからも目指していきたいと考えています。

代表取締役社長 舟橋 哲也

Purpose

私たちが社会の中で果たすべき役割

“つなぐ力”で創れ 未来の“あたりまえ”を。

生活を支えるインフラを

地域や世代を超えた全ての人々が当たり前に使って

自由に幸せを追求する事が出来る

それこそがエクシオグループがめざす豊かな世界です

技術の研鑽とハードからデジタルに至る知見をつないで

目まぐるしく変化する社会に

パートナーの皆様と新しい“あたりまえ”を創り続けていきます

EXEO 2030 Vision

2030年に目指す4つの社会

私たちは、これまで培ってきた情報通信インフラ分野での技術力を幅広い分野の社会課題の解決に役立てたいという夢を持っています。

その旗印として掲げたのが「2030 ビジョン」です。

「社会を繋ぐエンジニアリング」の力で新しい未来を創造することで社会の持続的な成長に貢献していきます。



01 | カーボンニュートラルな社会

メガソーラー、バイオマス、今後本格化する洋上風力などの再生可能エネルギー・プラントを構築し、最適化されたエネルギー・マネジメントシステムによりあらゆる次世代エネルギー利用の可能性を繋ぐ。



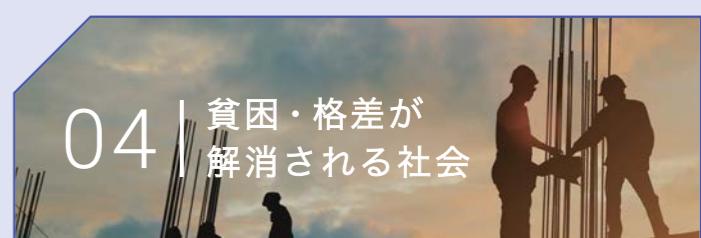
02 | 健康で生き生きと暮らせるスマートな社会

老朽化したインフラを再生し、高度な通信・ICT技術で都市やオフィスをスマート化。超高齢化が進む中で、医療や行政などの現場が抱える課題解決へさまざまなシステムとサービスで繋ぐ。



03 | グローバルで多様性を享受する社会

多様なクラウドサービスや金融サービスを支えるフィンテック技術で世界中にビジネスの可能性を拡大し、場所や時間、人種やジェンダーにとらわれない自由な働き方を繋ぐ。



04 | 貧困・格差が解消される社会

途上国でのインフラ整備、現地での雇用創出、技術者育成をはじめ、担い手不足が深刻な第1次産業の活性化や必要な学びが誰でも均等に与えられる学習環境を最新のICTサービスで繋ぐ。



Projects

事業紹介

世界を繋ぐ、3つの事業



通信キャリア事業

全国へワンストップで提供する 信頼と実績の通信設備サービス

長年の実績と卓越した技術力により、すべての通信キャリア事業者様の通信設備について、企画・設計から施工・運用・保守までの一貫した質の高いサービスを全国ワンストップ体制で提供しています。

- 光ファイバケーブル敷設
- ネットワーク設備工事
- 通信土木工事
- 通信電力設備工事
- モバイル基地局設置・保守



都市インフラ事業

社会・都市を支える 多彩なインフラ工事サービス

脱炭素社会実現への関心の高まりや自然災害の激甚化により、再生可能エネルギーへの取り組みや老朽化した公共インフラの更改・整備への動きの加速化が想定されます。当社が培ってきた技術・経験を駆使し、それらの工事の企画・提案、建設から運営までを包括的に行うことで、暮らしやすい社会の実現に貢献しています。

- 通信インフラ設備工事(CATV・鉄道通信設備等)
- 電気・空調設備工事(オフィスビル・データセンター等)
- 再生可能エネルギー関連設備(太陽光発電等)
- スマートエネルギー関連設備
- 廃棄物処理プラント建設・維持管理(バイオマスプラント等)
- 都市土木工事(無電柱化・推進工事等)



システムソリューション事業

最先端技術を駆使し 多様なソリューションを提供

クラウドを用いた通信ネットワークシステムから、情報セキュリティ、基幹システム、教育・医療系アプリケーションまでの、各種民間企業・公共団体向けシステムの構築・保守・運用において、ICTを活用したトータルソリューションを提供しています。

- ソフト受託開発
- 業務支援ソリューション
- IT関連設備構築(サーバ、無線LAN等)
- ライセンス販売、システム保守運用
- グローバル関連事業(通信、電気空調、各種ソリューション)



営業 / ビジネスマネジメント

営業

多岐にわたる事業分野において、お客様と施工担当との橋渡し役として調査から提案、設計、竣工までを担当します。

ビジネス マネジメント

財務系・人事系・法務系など幅広い業務知識・専門知識によって会社運営・組織運営をマネジメントし、会社経営の健全性や事業の推進を担っています。

- 人財戦略
- 財務戦略
- リスクマネジメント
- グループ経営
- DX推進

Projects

事業紹介

世界を繋ぐプロジェクト事例



通信キャリア事業

タジキスタンにおける データ測定センサー用無線LAN工事について

当社はSATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)に採択された、タジキスタンにおける「地中熱利用による脱炭素型熱エネルギー供給システムの構築」に参画しています。寒暖の差が激しく石油・天然ガスにも恵まれないタジキスタンにおいて、その豊富な地下水資源に着目し、人工知能などICT技術を統合した「先進乾燥地帯対応型地中熱ヒートポンプシステム(タジキスタンモデル)」の構築と普及によってエネルギー事情改善と雇用創出による地域安定化および温暖化対策への貢献を目指しています。

「地中熱デモプラントによる地中熱ヒートポンプ長期冷暖房試験」では、タジキスタンに地中熱ヒートポンプデモプラントを設置し、1年間の試験運転を実施します。当社はICT技術を活用した遠隔地からの情報収集と施設コントロール設備のため、データ測定センサー用無線LAN設置工事を担当しました。SDGsの達成に向けて当社の高い技術力で貢献しています。

通信キャリア事業

2025年日本国際博覧会(大阪万博)向けた 5G携帯電話サービス基地局の構築

今では、道路トンネル・地下鉄・地下街・医療機関といった公共の場において、携帯電話は使用できるだけでなく、より一層の高速通信が可能であることが求められています。

エクシオグループは来たる2025年日本国際博覧会(大阪万博)向け、Osaka Metro様駅構内だけでなく隧道*内にも5G携帯電話サービスの実現を目指しています。アンテナを天井に取り付けたり、装置や電源ケーブル、光ケーブルを天井内に設置。終電から始発までの短い作業時間の中、翌日の電車運行に支障をきたさないよう、安全を最優先に心がけながら、これまで培った技術力とチームワークで日夜取り組んでいます。「IoT」や「AI」が主流となる時代に向け、すべての人々が当たり前に豊かさを求め、健康で生き生きと暮らせるスマート社会に貢献することを目指しています。

*隧道…駅と駅を結ぶ線路を敷設したトンネルのこと

都市インフラ事業

カーボンニュートラルな 木質バイオマスガス化発電施設



福島県古殿町にてReGaWatt GmbH社のガス化発電設備(KOMBI POWER SYSTEM)を用いた木質バイオマスガス化発電施設の実証試験を行いました。木質バイオマスガス化発電は二酸化炭素を吸収するバイオマス資源を燃料とするため、二酸化炭素削減に貢献、廃棄物の再利用による循環型社会の構築、森林保護のために間伐された木材を燃料として活用することから再生可能エネルギーの一つとして注目されています。

当社が取り組む発電は「カーボンニュートラルな発電」で、二酸化炭素の排出を増やさないクリーンなエネルギーを作り出します。

エクシオグループは、深刻化する電力・環境問題に対し、ガス化発電事業を実現させ問題解決に貢献し、木質バイオマスエネルギーを利用する施設の設計・施工を継続して行ってまいります。

都市インフラ事業

情報社会のインフラを繋ぐ 大規模データセンタ構築



クラウドサービス市場の需要拡大に伴い、大規模データセンタの新設工事、増設工事が増えています。エクシオグループは大規模データセンタ構築に携わっており、電気設備、電力供給設備、冷却設備、ネットワーク設備、セキュリティなど、トータルエンジニアリングを提供しています。高品質で安定した電源設備を備えることはもちろん、停電や災害など外部電源の喪失時などに備えて、非常用発電機から安定した電気を供給するため、蓄電池や予備発電装置を設置する工事も行っています。

また、高度な情報セキュリティに対応した入退出管理・館内外監視システムなど、データセンタ特有のさまざまなニーズに、高度な技術力で応えることで、豊かな社会の実現に貢献しています。

システムソリューション事業

医療機関における X線画像AI解析の実証



総務省の「令和3年度課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」公募において『大都市病院における視覚情報共有・AI解析等を活用したオペレーション向上による医療提供体制の充実・強化の実現』が採択され、病院内の夜間急患センターにおいて、ローカル5Gを活用した、視覚情報共有、X線画像のAI解析、遠隔CT画像共有、大容量X線動画データ転送の実証を行いました。

当社は、セカンドサイトアナリティカ株式会社、エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社と共同で、クラウド基盤の構築と、360度カメラやスマートグラスなどの映像伝送システムの開発、X線画像のAIモデル開発を行いました。

AI解析での診断補助や遠隔診断を可能にすることで、持続可能な地域医療構想の構築を実現します。また、本実証を通して得た知見や技術を蓄積し、新たなビジネスやサービスの創出を目指してまいります。

People

先輩社員インタビュー

通信キャリア事業

誰が見ても分かりやすく丁寧で
安全第一の設計図づくりを目指して

ネットワーク事業本部
アクセスエンジニアリング本部
首都圏エンジニアリング部門

S.Akihiro

2016年新卒入社
電子情報工学科卒

現場が安全に作業できる 工事全体を見据えた計画を立てる

入社1年目に8ヶ月間の施工技術研修を受けたのち、施工や保守業務を一通り経験してきました。その現場の知見を活かし、現在は大手通信キャリア様の通信設備において、線路(有線)工事の設計を担当しています。設計は、施工を安全に、正確に進められるよう、全体の道筋を示す仕事です。例えば、新たに通信回線を使用するビルなどではその建物の構造に合わせた通信設備の基盤を構築する工事が必要です。線路工事はネットワーク構築の基盤。いかにスムーズにスケジュール通りに施工を進められるか。お客様の要望を聞きながら、工法や材料を選び、施工の手順や注意点を設計図に落とし込みます。

考え方で提案をしても、お客様から「もっとケーブルを目立たないようにしたい」など、さまざまなお意見をいただくことも。現場に無理がなく、指示が分かりやすく、かつお客様に喜んでいただける設計図づくりに、試行錯誤を繰り返しています。

提案の質を高めるために 現場との対話が大切

メインで携わっているのは、東京都の無電柱化工事プロジェクトです。電柱に架設された通信ケーブル類を地下施設(電線共同溝)に移転させ、道路上の電柱を撤去するのが、無電柱化の一連の流れです。通信設備には、私が生まれる前からあるような古い設備が多く、仕組みを理解するのに時間がかかります。分からることは

技術資料を読み込み、知識を頭に入れてから設計方針を決めていきます。現場でどう対処すべきか分からないものが出てしまうと、安全に作業することができないからです。さらに、通信設備はどんどん新しいものが加わり輻輳的になっています。施工の手順を正しく、誰でも読み取れるように設計図に記し、現場で混乱が起らないように心がけています。目指すのは、お客様に「この現場の設備では、この工法が最適です」と自信を持って提案し、納得・信頼していただくこと。そのためには現場の課題点を把握することが大切ですので、施工や保守を担当するメンバーからの意見には日々、耳を傾けています。

手を挙げて発信すれば 活躍の幅は広がっていく

エクシオグループは、研修や育成が手厚く、幅広い業務を経験させてくれる環境があります。私は、設計担当になる前に施工、保守業務で実際に手を動かしてきました。現場からの質問や相談に対して「この材料を使うといいですよ」など具体的なアドバイスができるのも経験があるから。現場のパートナー会社の皆さんと信頼関係を築けていると実感します。

「こんな大規模案件がやりたい」など、手を挙げれば任してくれるのが、エクシオグループで働く大きな魅力だと思います。通信の分野はこれからも需要の拡大が見込まれ、これまで培ってきた知識だけでは足りないことも出てくるでしょう。新たな資格取得にも挑戦しながら、自分から仕事の範囲を広げられるよう発信を続けたいですね。

通信キャリア事業

電波の通信状況テストを通じて
“繋がる当たり前”を作る

ドコモ事業本部
モバイルエンジニアリング本部
IMCS建設部門

K.Honoka

2020年新卒入社
情報システム工学科卒



建物の設備設計に応じて 通信のスムーズな繋がりを確認

建物内の電波を確認する「附帯試験」を管理するのが、私の役割です。通信設備の設計、施工を終えたビル内やイベント会場では、施工を担当した会社が電波の試験を行います。試験時に初めて電波を出し、通信の接続状況を確認します。試験のエントリーが来た際に、電波申請書類が総務省に問題なく提出されて許可がおりているかを確認したり、現場の試験で問題があれば施工を担当するパートナー会社の方に連絡して改修を進めたりと対応していきます。4Gか5G対応かによって、使われている装置が異なり試験方法やメンテナンス方法も変わります。試験を行う現場から「この装置の場合、どのように試験を進めるといいですか」と細かく質問されることも多く、私が現場の状況を理解しておかなければいけません。まだまだ試験方法の知識が足りないので、できるだけ現場に足を運び、自分の目で見て設備の違いを説明できるように勉強中です。

大規模イベントの通信インフラを 陰から支える

試験を担当する中に、大規模なイベント会場や施設があり、テストを終えた施設でのイベント開催の様子がテレビで取り上げられることもあります。来場したお客様の様子を見て、間接的にでも、役立てていることがうれしいです。

試験現場では、キャットウォーク(高所用の通路)など、通常は入れない場所から会場を見ることがあります。OJT期間中はいろいろな先輩から「あのスポーツ競技場で試験があるから、勉強のために見てきたら?」「なかなか入れない場所だから行ってきなよ」とたくさんの機会をいただきました。スケールの大きな現場を回るのはわくわくしますし、こんなに広い会場の通信インフラを任せられているんだと責任の重さも実感します。

通信インフラに携わりたいと思ったのは、東日本大震災が原体験となっています。携帯が繋がらなくなり、家族と連絡が取れなくなった時の不安が忘れられず、普段当たり前にある通信インフラの重要性に気づかされました。「繋がることが当たり前」を作るのが私たちの仕事であり、社会にとってなくてはならない存在であることに意義を感じています。

現場の声を吸収して 将来の挑戦に繋げたい

通信設備に対する知識はまだ足りていませんが、将来は現場経験を活かして設計にも携わってみたい。設計図面を見ながら設備の確認をしていると、現場の試験担当者から「この図面は設備位置が分かりやすい」「もっとこう描いてくれるとイメージしやすい」など、さまざまな声をもらいます。たくさんの意見に触れ、吸収して、上流工程に携われるようになった時に、現場の思いの分かる設計担当になりたいです。

周りには産休育休を終えて現場に戻っている先輩が多くいます。私のチューター(教育担当)もそんな一人。先輩たちの姿を見て、自分のライフデザインを考えられる恵まれた環境で、私も自分なりの働き方、キャリアを築いていきたいですね。

リモート社会の安全・迅速な ネットワーク環境を整える

学びながら働き続けられる そんな社会人のイメージを持てた

大学では電子システム工学科で、電気回路設計や通信ネットワーク基礎などを学んでいました。エクシオグループは私の大学で就職セミナーを開催していました。エクシオグループは多くの学生を受け入れていたりと繋がりがあり、研究室の先生や先輩から「いい会社だよ」と話は聞いていました。学んできた知識を活かせるかな、と選考を受けたところ、会社の方々がみんな穏やかで優しく、リラックスして話ができました。技術を学びながら長く働けるイメージを持たことが、入社の決め手になりました。入社後は、通信キャリア様のネットワーク設備構築として、サーバ・ルーター等の設備搭載、ケーブル配線、機器設定などの施工業務をしていました。現在は仮想化ソフト工事を担当しています。現地の装置にて機器を設定しなければならなかった作業が、ネットワーク仮想化技術によって、お客様のPC端末を遠隔操作し、仮想化されたハードウェアにて施工することができるようになりました。お客様のご要望に応じて、仮想ネットワーク機器・サーバを設定、工程管理しています。コロナ禍によりリモートワークが広がり、ネットワーク回線の使用率は大幅に増加しています。素早くトラブルのないネットワークを構築できるかどうかは、生活全般に影響を与えることもあります。5Gサービスの提供が広がる今、さらに便利で豊かな社会づくりに繋げていきたいと考えています。

お客様へのこまめな報連相が 無事故・遅延なしの竣工に結びつく

担当する案件は、数ヶ月で終わるものから数年かかるものまでさまざまです。お客様と最後まで良好な関係で「無事故・遅延なし」で竣工できるよう日々の報連相は欠かせません。施工と並行してテスト稼働を行うため、当初の設計に追加して作業要求をいただくこともあります。お客様の実現したいことを丁寧に聞きながらも、施工現場のパートナー会社の皆さんに無理がないよう調整するのも私の役割です。スケジュール上厳しいところがあれば、早め早めに相談し、全体進行に影響しないよう心がけています。お客様の中には、具体的な作業内容や技術的なことを知らない方もいらっしゃいます。専門用語を使わずに、作業工程の状況をどう分かりやすく伝えるか。相手の立場を考えた言葉選びも大切にしています。

部署横断のロボット開発プロジェクトで 業務効率化を目指す

業務効率化に向けては、社内部署横断の「ロボットサークル」にも参加しています。これは「施工現場で、人間にとって危険性や負荷の高い作業、煩雑な作業をなくすこと」を目的に、ロボットを開発する業務改善プロジェクト。任意参加のサークルで複数のチームに分かれ、それぞれのテーマでロボット開発を行っています。私が入っているのは「示名条片ロボ」チームです。10人ほどのメンバーで、示名条片(ケーブルの割当用途などを記載しておく札)づくりをロボットに代替させられないかと研究を進めています。学生時代から電気回路設計による自動化に興味を持っていたので、社会人になっても好きな分野で研究できるのはとても幸運なことだと思います。現在は、遠隔操作を可能にする仮想化アプリ構築を担当していますが、他にも設計部門や安全品質部門など幅広い業務に携わっていきたいです。

ネットワーク事業本部
ネットワークエンジニアリング本部
ネットワークソリューション部門

G.Keihant

2015年新卒入社
電子システム工学科卒業



都市インフラ事業

竣工時の稼働を無事見届けた時が 施工管理の醍醐味

電気・環境・スマートエネルギー事業本部
エンジニアリング本部
コンストラクション部門

H.Koki

2018年新卒入社
工学部電気電子工学科卒業

エクシオグループの幅広い事業領域に 「チャレンジ」の可能性を感じた

学生時代は電気電子工学を学び、知識を活かせる業界を探す中でエクシオグループに出会いました。業界内でも、通信、土木、電気、システムソリューションなど幅広い事業領域を持っている点で、「いろんな仕事にチャレンジできそう」と魅力を感じました。入社後は、1年間のOJT研修を経て、建築現場の電気工事施工管理を担当しています。オフィスビルやデータセンタなどの大規模な工事現場が多く、50～60人のパートナー会社の皆さんと設備稼働に向けて工事を進めていきます。安全面、品質面を管理しながらスケジュール通りに施工できているか、ビルオーナーであるお客様や設計担当との打ち合わせを重ね、調整していくのが私の役割です。パートナー会社の方から「このスケジュールで、この部分の工事は難しいのでは」と意見や指摘をもらった時には、作業工程を入れ替えるなど調整し、柔軟に対応する力も大切です。約3年の長い施工期間を経て、竣工時に照明が点灯し、無事稼働する瞬間に立ち会える時が、この仕事の醍醐味ですね。

入社2年目で初の現場管理を担当 施工の一連の流れを学んだ

入社2年目に初めて現場の施工管理を任された時は、各工程がどれくらいのスケジュールで進むのかも分からず、先輩方に助けられることがありました。



任されたのは大型ビル内の飲食店や事務所エリア6階分の新築工事。新築なので現場にエレベーターはなく、仮設エレベーターの事前調達なども、前倒しで進めておかなくてはいけません。電気ケーブルは天井の中に設置するので、天井の施工工事が始まる前に確実に作業を終えなくてはいけません。後工程を考えて、やるべきことを着実に進める管理能力も鍛えられました。

安全かつスムーズに施工ができるように、どんな準備をいつまでに終えてなくてはいけないのか。現場を任される中で一連の業務を学ぶことができました。

責任ある仕事を任せ 成長できる機会に恵まれている

エクシオグループには、年次にかかわらず責任ある仕事を任してくれる風土があります。現場で自ら考え行動して“体得”することで成長を実感できる。そんな機会が多くあることも、エクシオグループで働く魅力だと思います。

これからは、施工現場を管理する「職長」という役割に加え、プロジェクト全体の予算管理もトータルで見る「現場代理人」(現場のトップ)を任されるような存在になりたいです。



都市インフラ事業

浸水被害を軽減するための掘削工事。
現場責任者として私たちの生活を支える

土木事業本部
土木エンジニアリング部門

W.Yushi

2012年新卒入社
土木工学科卒

綿密な計算に基づいて 工事の施工図を作る

豪雨による浸水被害の軽減のために、雨水管渠(うすいかんきょ:雨水を流す管)を布設する工事を担当しています。現場代理人・監理技術者として、工事をスムーズに進めるための計画を立案。現場での機械・材料の準備や作業の指示などを行っています。

入社後は、12月まで新入社員研修を受けたのち、すぐに現場配属に。汚水管の新設工事や電柱の地中化など、トンネル掘削機械を使って工事する現場を多く経験してきました。行政の案件は入札を経て決まるので、入札準備のために営業担当や施工部、メーカーと予算やスケジュールの概算を決め、発注が決まってから具体的な施工図づくりが始まります。機材を下ろしやすくするためにどんな形の穴をどれくらいの大きさで掘るべきか。重機は何を使い、何トンのものを積むのか。事前に計算すべきことはたくさんあります。必要な機械や材料の見積もりを各メーカーに依頼し発注を進めますが、分からることはパートナー会社の皆さんに教えていただくことが多いです。1年目のころから付き合いが続いており、「その工事なら、この工具が最適だよ」など、プロたちのアドバイスに支えられています。

多岐にわたるトラブル想定を乗り越えた 呼び径2200国内最長推進工

入社6年目には、全長1kmの国内最長距離の雨水管渠の布設工事にも携わりました。超長距離でのトンネル掘削や鉄道トンネルと離隔70cmで交差する近接施工、夜間でも通行止めができない重要交

差点における掘削マシンの回収など、多くの課題がありました。また、掘る距離が長ければ長いほど、さまざまな埋没物にぶつかる可能性が高まります。電話や汚水管、ガス管などの近接構造物は設計図の段階で確認しますが、データに記録されていないような杭などの障害物にぶつかることもあります。そうなれば、計画を立て直すしかないので、柔軟な対応力が求められます。多種多様な「非開削工事」で培った高い技術力を活かし、国内最長推進工を完成に導くことができました。

目に見える達成感が 次の意欲に繋がる

浸水被害を軽減する仕事は、社会インフラの維持に欠かせません。ただ、地中の工事なので、「地図には残らない仕事」なんです。トラブルが起きた時だけ注目されてしまうのは、インフラの裏方仕事ならではかもしれません。そんな大変さの一方で、何もないところにトンネルができるいくのは、シンプルに面白いですね。何が必要なのかを計算し、準備を進め、穴を掘って少しずつトンネルを完成させていく。できたものが目に見えるので達成感も大きいです。

エクシオグループは、若手に現場を任せるスピードが速く、任されるからこそ、自分で学んでスキルを身に付けようというモチベーションに繋がります。これからも任された現場で実績を重ねながら、ゆくゆくは道路のトンネルを掘って「地図に残る仕事」もできたらいいですね。

都市インフラ事業

バイオマスプラントの設計・施工を通じて
カーボンニュートラル実現を目指す

電気・環境・スマートエネルギー事業本部
デザイン本部
SE・BIM部門

T.Shuho

2017年キャリア入社
物理学専攻



横の繋がりが強い

チームワークのあるエクシオグループの雰囲気に惹かれた

電気・計装(主に測定装置、制御装置)の設計担当として、一般廃棄物処理施設やバイオマスプラントの建設に携わっています。図面設計から始まり、必要な電気・計装品の購買、設計した内容が正しく現場に反映されるよう、電気の施工管理も担当。さらに、各機械の動作や制御の試運転を行い、プラントの性能確認まで、一貫して行っています。私が、2013年から派遣社員として携わっていた一般廃棄物処理プラント(紀の海クリーンセンター)は、約150人のパートナー会社の方が、何もない状態から施設の完成を目指す大規模プロジェクトでした。上司やパートナー会社の皆さんからは「自分がやるべきことを全力でやる」大切さを学びました。「人のせいにしない」という仕事の基本を教えてもらい、今の自分があります。現場のパートナー会社の皆さんとのコミュニケーションが活発で、社員同士の横の繋がりが強い風土に惹かれています。入社後ますます、チーム全員で一つのものを作り上げよう、という意識を感じることが多く、施工管理現場でも心地よく働いています。

数百人の関係者と一つの施設を作り上げる 竣工時の達成感がやりがいに

施設の規模にもよりますが、一般廃棄物処理施設やバイオマスプラントの竣工までは、営業・設計・施工・試運転の全工程で約3~4年かかります。現場には、機械、電気、建築など各分野のパートナー会社の方が数百人規模で関わるため、同じプロジェクトの完成形をみんなで共有するためにはコミュニケーションが欠かせません。機械を一つ設置するにしても、高さや位置をミリ単位で調整する必要がありお互いの専門領域を尊重することがとても大事。パートナー会社の方と意見が食い違ったり、自分が設計した図面を「もっとこうすればよかった」と反省して修正したり…。日々さまざまな事象が発生して大変だからこそ、みんなで施設を完成させ、機械が実際に動いているところを見ると、「頑張ってきてよかった!」とほっとします。

プロジェクト規模の大きさは 海外視察にまで広がっていく

現在担当しているのは、ガス化バイオマスプラントを自社で建設し、売電收入を得るというプロジェクトです。間伐材で作られたチップを燃料とし、発生したガスを燃やしてガスタービンで発電します。そして作られた電気を電力会社に販売し、収入を得るという新たなビジネスに挑戦しています。無事、試運転まで終えることができ、数年後には営業・販売を進めていくという段階までくることができました。カーボンニュートラルの実現、というチャレンジに携われていることには、大きな意義を感じています。このプロジェクトは、案件自体のスケールが大きい上、グローバルな繋がりも多くあります。バイオマスプラントでは海外製の機械を輸入しているため、現地から来日した技術者(スーパーバイザー)と試運転を進めることもあります。また、同じ施設の海外事例を視察するために1週間スイスやオーストリアに滞在し、自社で建設したプラントと比較した上で改善点を見つけるなど、国内に留まらず活動の幅が広がっています。今後はプロジェクトマネージャーとして全体を見る力をもっと身に付け、案件に携わった全員が「いい仕事をできたね」と言い合えるような現場を作りたいです。

システムソリューション事業

IT戦略のロードマップを提案。
お客様のより良い働き方をサポートしていく

社内リソースの豊富さが エクシオグループの魅力だった

前職では、中小規模のITコンサル企業に約10年勤めていました。開発業務を経て、お客様のニーズに合わせた要件定義や戦略立案などのITコンサルタントを担当。そこでの経験を活かして、より大きなフィールドで挑戦したいとエクシオグループに入社しました。

エクシオグループを選んだのは、多岐にわたる事業領域とお客様に提案できるソリューションの幅広さが魅力だったから。ITサービスの提供のみならず、ネットワーク構築の技術もあり、ソフトウェア開発からハードウェア開発まで手掛けています。

ここなら、グループ内リソースを活用してお客様のあらゆるご要望にお応えし、後工程まで含めたトータルな提案ができるだろうと考えました。現在は、社内のデジタル化を進める企業様や、システム活用などで課題を抱えている企業様に対して、IT戦略のロードマップを提案しています。エクシオグループの他事業領域から「お客様がIT環境について悩んでいる」「相談ののってほしい」と紹介をもらうケースが多く、グループ内ネットワークで顧客開拓ができています。こちらから新規営業をすることなくさまざまなニーズに触られるところは、エクシオグループならではの強みだと思います。

他事業部の業務効率化に貢献 お客様への提案に繋げていく

現在の仕事では、社外のお客様以外に、社内の他事業部のIT課題に向き合うこともあります。

例えば、土木事業本部から「DX戦略部が提供するツールをもっと活用したい」「どうすれば組織に浸透していくか」と相談を受け、現場の課題をヒアリングを行ったこともあります。施工現場を見に行くと「生産性と安全性を上げるために、もっとこんなツールの使い方ができるのでは」という改善点を見出すことができ、組織・業務改善に繋がっていました。

現場の困りごとを直接相談してくれるグループ内の関係性があることで、課題の理解が深まります。その知見を活かして、社外のお客様にも「こんな点で困っています」と投げかけることができる。エクシオグループの組織の多様性は、提案の幅に繋がっていると感じています。

お客様の組織・事業の根幹にかかる 大規模プロジェクトを手掛けたい

今は、お客様の一部サービスの自動化や、DXを推進する組織づくりのサポートなどを手掛け、道半ばの案件も多くあります。これからは、一つひとつの仕事でお客様に信頼していただけるよう結果を残し、リピートでご相談いただける関係を築いていきたいです。そして、基幹システムの刷新などより大きな会社の根幹にかかるような案件を任されるようになりたいですね。組織横断のチームを立ち上げてお客様に向き合えるような、プロジェクト組成力、巻き込み力も身に付けられたらと思っています。

ソリューション事業本部
デジタルコンサルティング本部

S.Shinya

2020年キャリア入社
数学科卒業



システムソリューション事業

ネットワーク環境がなければ通信はできない
社会に不可欠な裏方を担う



ソリューション事業本部
ICTエンジニアリング本部

K.Atsushi

2015年新卒入社
情報学群 情報通信専攻

ですが、メールのクラウド移行は当時初めての経験でした。そもそも既存のメールシステムがどういうものなのか。システム移行の手順やセキュリティ面で注意すべき点はどこなのか。検討の段階で調べることが多く、社内のセキュリティ分野の方に何度も相談しながら、提案内容を作り上げていきました。約半年かけサービスインできた時の達成感と、お客様からの感謝の言葉は忘れられません。システム刷新のプロジェクトでは、携わったサービスのプレスリリースが世の中に出ることも多くあります。「自分の仕事が使いやすさや便利さに繋がったのかな」と実感できるのがうれしいですね。

豊富な技術研修など 学びの機会に恵まれている

エクシオグループでは、技術研修や資格取得の機会が多く、担当業務とは異なる領域にも挑戦することができます。会社で多様な研修を用意しているので、希望を出せば研修を受けることができます。学ぶ意欲のある方にはとても恵まれた環境です。

実際に私も、ネットワークエンジニアだった時にサーバの研修を受けたことで、知識が広がり、今の仕事で非常に役立っています。学びは繋がっていくものだと実感しています。

これからも、さらに多様な技術領域で活躍の幅を広げていけるよう学びの機会を最大限に活かしていきます。クラウド活用の知見も活かしていきたいですし、技術と案件管理のどちらにも対応できるようなビジネスパーソンを目指したいと思っています。

無事サービスインした時の達成感は 何にも代えがたい

印象的なプロジェクトには、お客様の情報システム刷新の一環で担当した、メールシステムの移行作業があります。

これは社内のメールサーバで扱っていた情報をすべてクラウドサービスに移行するというもの。プロジェクトでリーダーを任せられたの

営業

グループ間連携でソリューションを開発。
最先端技術でお客様のニーズに応える

ソリューション事業本部
デジタルコンサルティング本部

H.Yuka

2017年新卒入社
文学部史学科卒

文系出身でも大丈夫
単なるモノ売りではない提案営業に挑戦したかった

学生時代は近代日本史を専攻しており、Wi-Fiと4Gの違いも分からぬくらいITとは無縁の生活を送っていました。エクシオグループを知ったのは父がきっかけです。父がエクシオグループと一緒に仕事をしたことがあり、「いい会社だよ」と教えてくれたことで興味を持ちました。会社説明会でエクシオグループの営業は「モノ」を売るのではなく、お客様へのソリューションという「コト」を考えて提案する仕事だと知りました。

入社後は施工部での1年間のOJTを経て営業部へ。現在は、2019年に立ち上ったデジタルコンサルティング本部にて、営業と施工部の間に立ってサポートする仕事を担っています。営業が受注するまでの提案と一緒に進め、施工部にスムーズに繋げていくことが私の役割。技術的にお客様のご予算や期間などをふまえるとご要望通りに施工することが難しい場合があるので、どうすればできるのか、どこまでならできるのか、社内調整を進め現実的な着地点を見つけるのが難しいです。

グループ連携が
新しいセキュリティソリューションを生み出した

デジタルコンサルティング本部の仕事は、提案を一から作れるところに面白さがあります。2020年にはコロナ禍で設備投資を縮小するお客様も多い中、苦肉の策で始めたサーマルカメラのご提案がオリジナルソリューションに繋がりました。

エクシオグループのひとつに、ExBeaconという位置情報・セキュ



ビジネスマネジメント

円滑な「グループ経営」と事業成長を
連結決算業務から支えていく

財務部

O.Yoshiki

2014年新卒入社
商学部卒業

決算業務を通じて
会社の経営を見していく

新卒で入社後、グループ会社での人事・給与計算業務を経て、2018年から財務部に配属になりました。大学は商学部だったものの、財務・経理に関する知識はほとんどゼロ。実務を任されながら学んでいました。最初の2年は税務担当として、エクシオグループの法人税などの税金計算や納付、税務調査対応などを担当。その後、エクシオ1社単独の決算業務を約2年経験したのち、現在はエクシオグループと100社を超えるグループ会社すべての企業の連結決算とその開示業務を担っています。決算に携わることは、会社の経営を知ること。積極的なM&Aによりグループ会社が増え事業拡大していく様子を、数字面から知れるのがとても面白いです。決算を無事終え、世の中に数字を出せた時の安堵感が次の仕事への意欲に繋がっています。

会計基準の大幅変更を
部門横断の協力関係で乗り越えた

これまでの仕事の中で特に印象深いのは、2021年度からの新たな会計基準の適用に向けて、社内でプロジェクトを組んで動いたことです。新しい会計基準では、売上の計上方法が大幅に変わり、売上高を計上しなければならない大型工事案件の規模が、契約金額、工期ともに大きく引き下げられることになりました。つまり、計上すべき案件数が急増することになり、限られた決算対応の期間内で、売上高を算出するのが難しくなってしまったのです。そこで、社内の施工部門や、社内システムを管轄する部門の協力を得て社内システム整備を進めることに。結果、売上計上フローを確立し、新たな会計基準に対応した売上計上への切り替えをスムーズに完了することができました。会計基準の大幅な変更は、そう頻繁に起るものではありません。プロジェクトを取り仕切るプロセスで、他部門との横断的な協力関係を築くこともでき、とても貴重な経験をすることができました。

効率的で正確な連結決算業務に向け
もっと知識を深めたい

2022年から担当になったグループ会社の連結決算業務は、一から勉強しなければならないことがあります。今後は資格取得を目指してさらに知識を深めていきたいです。また、当社は近年「グループ経営」にますます力を入れており、M&Aによりエクシオの仲間に加わる会社が増えてきています。連結決算を進めるためには、グループ会社で経理処理のやり方を統一しなければならず、「この売上計上の仕方を、このように変更してください」と説明できなければいけません。各社のさまざまな経理処理方法について、どこをどう変更すべきか、相手の視点に立ちながら正確に伝える力が必要です。知識不足な点を補いながら、効率的な連結決算に向けて動いていく実力を身に付けたいです。



People

ワークスタイル座談会

2021年入社からマネジメント層の社員まで エクシオグループでの働き方について――



これまでの経歴や
現在の仕事内容について教えてください。

T.Naoko:

入社以来、土木領域でのトンネルの掘削から、携帯の基地局建設工事、携帯アプリケーションのセールスエンジニアとさまざまな職種を経験してきました。2021年7月からは、初めてのフロント営業で新規案件開拓という新しいフィールドに挑戦中。せっかく幅広い職種で人脈を広げてきたので、それらを活かせる、かつまだやっていない領域はどこか…と考え、営業に来ました。

U.Naoki:

あえて新しい領域へ、という意欲が素敵です。私は入社してから、一貫してIT領域にいます。サーバ基盤の構築に携わってきましたが、技術革新が目まぐるしく、現在はクラウドサービスを活用したシステム構築提案がメインとなっています。新たな基盤の使い方にキャッチアップしていくのは大変。常に学び続ける姿勢が必要な仕事で、若手のアイデアや柔軟な発想力にも刺激をもらって

います。

M.Yuri:

私はNTT様発注の一般工事といわれるケーブルに関する工事の設計・施工を担当しています。長期間にわたる大規模工事で、都内でケーブルを整理・集約する工事や、道路の拡幅に合わせたマンホール移転に伴うケーブル工事に携わっています。現場の施工を担当するパートナー会社さんと進捗を確認しながら、状況に応じた工事の軌道修正を進めています。

O.Hayato:

先輩たちの仕事内容を聞いていると、改めてエクシオグループの事業領域の広さを感じますね。私は電気工事施工管理者として、建築現場の施工管理を担当しています。まだ入社3年目で現場経験が浅いので、まずは電気工事での知見を得たい。新築の建造物を担当しているので、一から電気設備を構築する方法を学ぶことができています。

S.Hina:

私は入社2年目になります。お客様先に常駐して国税に関するプ

ロジェクトで大規模なシステム開発に携わっています。

まだまだ知識も経験も浅いため分からることばかりですが、日々勉強しながらSEとしての仕事の進め方を学んでいます。



結婚・出産などのライフイベントの変化を経て、
仕事を続けられた理由とは。コロナ禍により
働き方はどう変わっていますか？

T.Naoko:

出産を機に、仕事と家事・育児とをはっきり切り替えられるようになりました。コロナ禍でリモートワークが進み、家事を終えた夜に仕事をすることもありますが、「ここから〇時間は仕事する」など、高い切り替え力と集中力が身に付きました。U.Naokiさんも育休を取得していますよね。働き方は変わりましたか？

U.Naoki:

そうですね。私は3人の子どもがいて、2人目と3人目の時にそれぞれ1カ月間の育休を取りました。当時は(男性社員の取得に)あま



T.Naoko

1996年入社
ドコモ事業本部
ビジネス営業本部新領域営業部門 担当課長



U.Naoki

2003年入社
ソリューション事業本部
ICTエンジニアリング本部 課長代理



M.Yuri

2015年入社
ネットワーク事業本部
アクセスエンジニアリング本部
首都圏エンジニアリング部門



O.Hayato

2020年入社
電気・環境・スマートエネルギー事業本部
エンジニアリング本部コンストラクション部門



S.Hina

2021年入社
ソリューション事業本部
開発本部
社会基盤システム開発部門

り先例はありませんでしたが、育休を取らなければ家庭が回らない状況で、自然な選択でした。2022年から法改正により、パパ育休が新設され、育児休業を分割取得できるようになり、男性の育児休業取得促進が高まっています。周囲の理解も進むと、より取得しやすくなると思います。今では子どもの予定優先で考える習慣がついていて、最近はリモートワークが進んだことでさらにスケジュールを組みやすくなりました。保育園の送り迎えをしつつ自宅で仕事ができるので、とても助かっています。

M.Yuri:

営業部など他部署でも複数の男性社員が育休を取得していて、誰でも取得できる社風が広がりつつあるのがいいですね。U.Naokiさんはパイオニアだと思います。働き方の変化という点では、私が担当する工事現場では、状況把握の必要性や事故予防の観点からリモートワークはなかなか難しいです。ただ、時差出勤が広がり、7時から11時出勤でシフトを組んでいるので、働く時間帯は大幅に変わりました。満員電車に揺られることがなくなり、心身の負担が軽くなったのはうれしいですね。



O.Hayato:

私は入社と同時にコロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言が発令され、対面での研修ができない期間が長くありました。地元・沖縄から上京し同期メンバーと同じ寮生活をしていたので、一緒にご飯を作ってどちらかの部屋で過ごしたり、大勢と話したい時はリモート飲み会で盛り上がったり。仲間が近くにいる安心感にはかなり助けられました。OJTが始まり、先輩たちが丁寧に教えてくれることも多く、当初の自宅学習で短くなってしまった研修の分を、現場の仕事で人一倍学んでいこうと考えています。

S.Hina:

私の入社した2021年は、コロナ禍になって2年目だったこともあり、会社が対面とオンラインのハイブリッドで研修を進めようとさまざまな工夫をしてくれました。研修後、1年目から現在まで2つのプロジェクトを経験しました。システム開発ということもありテレワークが多い印象です。1年目は週の半分程出社し、常に誰かテレワークの人がいる状態なので打合せはすべてオンラインで実施されていました。現在はプロジェクトを異動し、基本すべてテレワークです。私はSEなので、テレワークでも出社でも作業が変わらないですし、コミュニケーションツールを活用して小さな相

談から打合せまでできているので、あまり大きなデメリットは感じていません。しかし、対面のほうは周囲の状況が把握しやすかったり、それによって相談がしやすくなったりもするので、対面のメリットは、やはりコミュニケーションの取りやすさだと感じます。

Q 今後チャレンジしたいことはありますか？

T.Naoko:

私がこれまで長く仕事を続けられたのは、上司や同僚の存在が大きいんです。インフラの施工分野から携帯のアプリケーション開発チームの立ち上げリーダーに就く話を受けた時は戸惑いましたが、上司が「自分だからできること、貢献できることは何かを考えなさい」と、背中を押してくれたから今があります。職種の枠にとらわれず、いろいろなチャレンジをさせてもらったように、今のメンバーにもやりたいことに挑戦し、意見を出し、のびのびと動ける環境を作っていました。仕事で壁にぶつかった時の乗り越え方も、人それぞれの考え方や価値観があります。違いを尊重しながらサポートできるリーダーになればいいなと思っています。

M.Yuri:

T.Naokoさんの存在は、入社してからずっとロールモデルだったので、私も将来は現場経験を活かしてマネジメントに携わりたいです。まずは近い目標として、現場を統括できる工事長を目指しています。アクセスエンジニアリングは、エクシオグループ内でも比較的大きな金額を持つ事業部なので、予算管理を含めて責任を持って見るようなポジションに就きたいと思っています。

U.Naoki:

私もマネジメントの観点で、課内の情報共有に力を入れてきました。この2~3年でリモートワークが進み、部全体の集合会議の場が減っています。近くでメンバーの様子を見られないことで、どこでつまずいているのか、分からないところはどこかを把握しづらく、新しい技術の知識共有や伝達も難しいことがあるとも感じています。リモートの良さである、時間に融通の利く働き方を大事にしながらも、ツールを使った会話量を増やすなど工夫していきたいですね。

O.Hayato:

皆さん、チームやグループ全体を見ていて、やっぱり先輩方は視

野が広いな…と感心しました。私はごく個人的なことになってしまいますが、「いつかは沖縄の実家を自分の手で建て替えたい」という思いがあるんです。その目標から逆算すると、今は施工管理担当として電気の知識をつけ、32歳までに、M.Yuriさんのように工事長を目指したい。現場で経験を積める年数が限られるので、1年ごとに目標を立てて、仕事をしながら設備設計、建築の知識を学んでいきたいです。

S.Hina:

具体的な目標があってすごいです。私はこれをやりたいという明確な思いがあって入ったわけではないですが、学生の時から「ITの力を使って当たり前を作りたい」と考えていました。当たり前に使えたならすごく便利で、生活が豊かになるものはいっぱいあると思います。まだ漠然としていますが、その“何か”を作っていく人財になりたいですね。私も先輩方のお話を聞いて、エクシオグループは仕事の幅が広いということを改めて感じました。電気や土木、ネットワークなど、興味関心を広げてチャレンジしたいと思ったらできるのが、多様な事業を持つエクシオグループの魅力だと思います。私もやってみたい分野には、柔軟かつ積極的に挑戦していきたいです。

現場勤務にも時差出勤が広まって満員電車に揺られることがなくなり負担が軽くなりました

People

海外で活躍するエクシオグループ社員



英語力ゼロからグローバル事業へ。
グループ連携で大規模プロジェクトを目指す

「英語を学びたい」から始まったグローバル事業への挑戦

2020年3月より、シンガポールの電気設備工事会社Leng Aik Engineering Pte. Ltd.(以下、LAE)に駐在員として赴任し現地での生活は3年以上になります。入社時、グローバル志向はほとんどありませんでした。2年間は大手通信会社様のネットワーク構築の施工を担当し、グローバル事業について何も知らなかっただけです。転機は、海外語学研修制度(当時)の一環として、1年間フィリピンのMG EXEOで働いた経験でした。この制度は、「海外で働きながら英語を学べる」というもので、週3日は語学学校での勉強、週2日は出勤という両立を半年間続け、1年後には自然に会話ができるまでに成長できました。素晴らしい学びの環境を用意してくれたことで、グローバル事業に携わっていく自信が生まれました。

グループ会社間の連携で、最新トレンドを共有していく

現在はLAEの営業部に所属し、建設工事の入札案件における材料費の概算と見積もりを作成し、お客様へ提案しています。シンガポールでは、入札要項の開示から入札までの納期が短いことが多く、急な依頼で一気に忙しくなることも少なくありません。そこで、見積作成時の材料の数量をカウントする際に、積算ソフトウェアを活用して業務効率を上げ、記録に残せるようにするなど、さまざまな工夫を進めています。

また、エクシオの海外グループには数多くの会社が属し、施工系からIT系まで事業領域は多岐にわたります。グループマネジメントに携わる方から、シンガポールでのIT業界のマーケット状況や、新たな大規模施設の建設予定などの最新情報を教えていただけることが多く、新しい技術の取り入れに積極的で非常に刺激的で勉強になります。

大型案件獲得に向けて、テクノロジーとM&Aの知見など幅広く身に付けたい

LAEでの経験で忘れないのは、入札要項が数千ページにも及ぶ、過去最大規模の鉄道プロジェクトです。英語の技術仕様書や契約書をすべて読み込み、対応可能かを検討しなければ、受注後に「その条件では契約履行できない」というトラブルに繋がります。法的な内容も一つひとつ調べながら入札までの3ヶ月間はこの案件に向き合い続けました。これからも、政府系の大規模案件にチャレンジするために、シンガポール国内でのグループ連携を進め、ITや通信系企業との共同入札も進めていきたいです。また、建設業の設計や施工の業務効率を進めるシステム「BIM(Building Information Modeling:ビム)」についても理解を深め、テクノロジーも積極的に学んでいかなければいけません。エクシオグループ全体ではM&Aが盛んに行われているので、M&Aに関する知見分析力も深めていきたいと思います。



日本とフィリピン両者の良さを事業運営・組織づくりに繋げたい

事業運営に関わる業務全般とスタッフ支援を担当

2021年4月よりフィリピンで通信キャリア事業を主力とするMG EXEOに駐在し、事業運営コンサルティング業務を担っています。人事、総務、財務、調達、営業そして経営企画部と連携しながら、MG EXEOの事業運営に関わるオーバーヘッド業務全般を担当しており、現地スタッフのサポートも行っています。また、フィリピン国内での通信設備工事で安全性を確保するべく、工事部と連携して施工現場における安全対策などの立案も行っています。日本人社員は数少ないので、日本との連携、情報交換を行うのも重要な役割です。

意思決定に向けた熟考と 早急な対応のバランスが難しい

事業運営コンサルタントとして幅広い担当分野での意思決定を自分の権限で行うことができます。やりがいはありますが自分の判断が会社に大きな影響を与える責任も重く、スタッフから常に意見と判断を求められる立場にいます。重要な決断においては、意思決定の期限や優先順位を決めた上で、多方面から物事を考えることを意識しています。一方でフィリピンでは、突然、政府による方針発表や施策実施が決まることが多く、時には迅速な判断が必要になります。考え方抜くこと

とスピード感とのバランスをとるのが非常に難しいですね。

ワクチン対策で見えた、エクシオグループのチーム力

中でも難しかった意思決定は、新型コロナウイルス対策でした。お客様から「ワクチンを接種した人でなければ工事に従事させない」という指示があり、ワクチン接種率が事業の存続に直結する事態が起つたのです。

そこで、フィリピン国内のワクチン接種率が1%にも満たない2021年5月に、社内でワクチン接種推進タスクフォースを結成。ワクチン確保の交渉、優先接種者の選定、接種時期の調整。地域ごとの配布量の検討を行い事業への影響を最小限にするオペレーションを実施しました。同時に、ワクチンの知識を社内で広げることで、3ヵ月で接種率90%を超えることができました。

社内には、多様な価値観が混在しているながら、同じ目標を持ったメンバーが揃っています。一人では成し得なかったこともチーム一丸となって実現できる。それがエクシオグループで働く魅力だと感じています。

今後は社内のDX化を進め、今以上に働きやすく、長く働ける会社づくりに貢献したいです。日本とフィリピンの良さを混合した、誰もがうらやむ社内の制度を作れたらいいなと考えています。

個人の成長に寄与する制度

新入社員研修

“人財”第一主義の考えのもと、多種多様な研修や教育の機会を設け、社員一人ひとりの成長をバックアップしています。入社後の研修・OJTを通して若いうちからやりがいを持って仕事に取り組める環境が整っています。



導入研修

エクシオグループの社員として、会社の基礎情報・社員制度を理解します。

エクシオグループ基礎研修

学生から社会人への意識変革、主体性の確立、目的意識を持ち、行動することの習慣化を目指します。

専門分野研修

専門分野ごとの基礎知識・技術および、他部門の業務内容を学びます。

OJT研修(仮配属)

専門分野研修後、3年間にわたり先輩社員がチーフとして指導・育成を行いながら、OJTを実施します。

2年目ステップアップ研修

1年間の振り返りと、より高い目標に向かって仕事に取り組むためのモチベーションコントロールスキルの習得とコミュニケーションスキルの向上を図ります。

チーフ制度

新入社員一人ひとりにチーフを配置し、育成とフォロー、メンタル面、生活面でのアドバイスを通じて成長を促し、意欲の向上を図っています。

研修・教育ラインナップ

OJTと並行して技術研修、資格取得、通信教育制度、海外トレーニング、1on1ミーティングなど、継続的な学びと成長の機会を準備しています。また、集合研修、オンライン研修、eラーニングなどそれぞれの長所を融合したブレンドラーニングによって、より効果的・効率的な学びを追求しています。



技術研修

「技術力=ブランド力」の考えのもと、グループ会社も含め、全国規模で技術研修を実施し、IT人財の育成や、高度な技術、最新の技術を持った技術者、現場の安全を守るリーダーの育成に力を入れています。

資格取得

技術力を高めるために資格取得を奨励しています。外部研修、講習会、受験費用は全額会社負担とし、資格取得時にはランクに応じて報奨金を支給しています。

通信教育制度

各分野のスキルアップのために設けられている講座が多く、資格取得や自己啓発など、合計100以上のコースが選択可能で受講料は全額会社負担です。

海外トレーニー

グループ会社全社員を対象に公募を実施し、海外のグループ会社に約1年間の派遣を行います。海外拠点で実践的に活躍することで、当社グループのビジネスを牽引する人財の育成と、グローバルビジネスを推進する人財の早期育成を図ります。海外トレーニーで得た経験、人脈、ノウハウをもとに、新規ビジネス等のさらなる発展を目指します。

1on1ミーティング

上司と部下、1対1でのミーティングを定期的に実施しています。気兼ねなく意見や気持ちを伝える機会を設けることで、信頼関係を構築し、課題の解決や気づきを提供することで、成長を促進します。また、組織内のコミュニケーションを円滑にすることで、新たなアイデアや提案等、失敗を恐れずにチャレンジできる風土醸成と組織のイノベーション推進を目指しています。

取り組み・制度

日々の業務以外の活躍や学びの場として、技能五輪への出場から、個人個人に合わせたキャリア形成サポートの仕組みなど、成長を定期的に確認できる場を組織として用意しています。



技能五輪大会

高品質な工事を提供するための技術力の強化・向上ならびに人財育成の一環で、社員が技能五輪に出場しています。全国大会での金メダル獲得は通算で9回、世界大会での金メダルは過去に6回獲得しています。

キャリア形成のための人事制度

【自己申告制度】
年1回、担当業務の満足度、今後の希望業務、希望部門について申告、上司との対話を通して、適材適所の人材配置による育成や上司と部下の意思疎通、相互理解を図ります。

【目標設定制度】
1年間の業務目標を設定し、半年ごとに達成度や進捗について上司と対話・評価・フィードバックすることにより、公平な処遇と個人能力向上、組織の活性化を図っています。

ダイバーシティ&インクルージョン

ダイバーシティとは多様性です。つまり、組織でのダイバーシティ推進とは、「多様な人財の能力を最大限に活かす戦略」を意味します。多様化するお客様のニーズへの迅速かつ柔軟な対応と、事業の発展および業績向上を目的に、「Team EXEO」としてジェンダー、信条、国籍、障がいの有無、性的指向、性自認等を問わず多様な価値観を認め合う風土を醸成し、これまでの常識や固定観念に縛られない、新たな価値創造へ繋げ、個と組織の持続的成長を実現します。ダイバーシティ推進にゴールはありません。多様な感性や価値観を取り入れた新しい発想で組織が活性化し、組織の中でイノベーションが創出できる、眞の意味での「ダイバーシティ&インクルージョン」を目指します。

Pick Up!



男女問わず「仕事と育児」「仕事と介護」を両立し、長く働き続け、活躍できるよう、法定を超える両立支援制度を整備しています。また、労働関連法令の遵守、メリハリのある働き方推進、組織横断的な業務効率化、心身の健康維持・増進に向けた改革に取り組んでいます。その他、エリア基幹職制度やテレワーク制度の活用などさまざまな制度、取り組みによって多様・柔軟な働き方の実現に取り組んでいます。



「地元に貢献したい」「仕事と育児や介護を両立したい」という希望がある方は「エリア基幹職制度」を活用することができます。全国事業所の勤務地を「10エリア」に区分し、選択したエリアでの勤務が可能です。また、一定の条件を満たせば全国転勤型の総合職へ転換するなど雇用形態をシフトすることができます。柔軟な働き方をすることで仕事と育児や介護を両立するなど、さまざまな境遇の社員が長く活躍できる会社を目指しています。



2018年7月にテレワーク勤務規則を大幅に改定し、在宅勤務、サテライトオフィス勤務、モバイル勤務がより柔軟に利用できるようになりました。コロナ禍では、在宅勤務の利用回数制限と利用対象者の制限を廃止することで、利用者も大幅に拡大しました。また同年からテレワーク・デイズにも積極的に参加し、従業員の利用促進に取り組んでいます。なお、これらの取り組みが評価され、当社は2018年11月、総務省が実施する平成30年度「テレワーク先駆者百選」に選定されました。

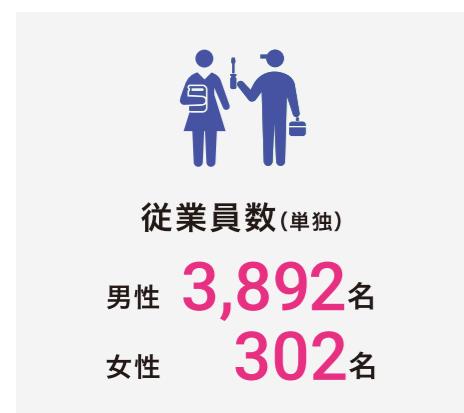
Company

会社紹介

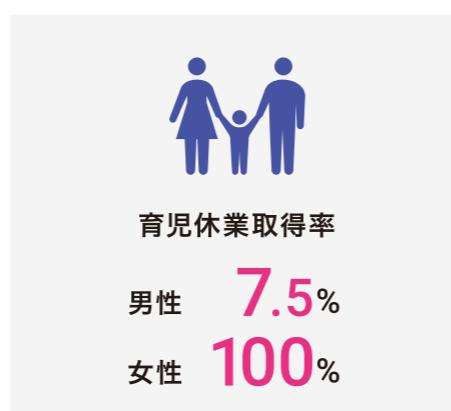
数字で見る、エクシオグループ



商号	エクシオグループ株式会社 EXEO Group, Inc.	売上高	連結 5,948億円／単独 3,110億円 (2021年4月～2022年3月)
創立	1954年5月17日	従業員数	連結 15,847名／単独 4,194名 (2022年3月31日現在)
資本金	68億88百万円	本社	東京都渋谷区渋谷3丁目29番20号 電話(03)5778-1111(代表)
株式	東証プライム市場上場	西日本本社	大阪府大阪市中央区内本町2丁目2番10号 電話(06)6360-4057
代表取締役社長	船橋 哲也	事業所	支店 12 / 営業所 23



<p>くるみん 次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定し、男女問わず仕事と育児の両立しやすい環境整備に取り組んでいます。こうした取り組みの結果、子育てサポート企業として、2015年に厚生労働大臣認定の「くるみん」マークを取得しています。</p>	<p>DX認定 経済産業省が経営ビジョンの策定やDX戦略・体制の整備など、DX推進の準備が整っている事業者を認定する「DX(デジタルトランスフォーメーション)認定」制度に基づき、経営者に求められる企業価値向上に向け実践すべき事柄を定めた「デジタルガバナンス・コード」の項目に関して認定基準を満たしていることが評価され「DX認定事業者」に選定されました。</p>
<p>テレワーク先駆者百選 経済産業省が実施する平成30年度「テレワーク先駆者百選」に選定されています。「テレワーク先駆者百選」は、経済産業省がテレワークの導入・活用を進めている企業・団体の中から、十分な実績を持つ企業などを公表しているものです。</p>	<p>MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数 2017年から6年連続で「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指標」の構成銘柄に選定されています。同指標は、時価総額上位700銘柄で構成される「MSCI ジャパンIMIトップ700」の構成銘柄のうち、業種ごとにESG評価に優れた企業が選ばれる指標で、当社は「資本財・サービス」部門の構成銘柄となっています。</p>



<p>D&I Award2022 D&I Awardは、「D&Iに取り組む企業の後押し」「D&Iのあり方のアップデート」の2つの目的を通して、社会全体のD&Iの推進と、その先にある“D&Iがあたりまえの社会”の実現を目指しており、ダイバーシティ&インクルージョンに取り組む企業として、2021年度に続き、2年連続でベストワークプレイス認定を受けました。</p>	<p>PRIDE指標2022 セクシュアル・マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「Work with Pride」が策定した、職場における取り組み評価の指標「PRIDE指標」において、2020年度にブロンズ認定、2021年度および2022年度にシルバー認定を取得しました。</p>
<p>スマートワーク経営2023 日経新聞社が実施した「第6回日経Smart Work経営調査」において、4星の認定を獲得し、前回調査の3.5星を上回る評価となりました。多様で柔軟な働き方の実現、新規事業などを生み出す体制、市場を開拓する力の3要素によって組織のパフォーマンスを最大化させる取り組みを「スマートワーク経営」と定義し、企業統治などの経営基盤も加え、星5段階で評価されます。</p>	<p>スマートワーク経営2023 日経新聞社が実施した「第6回日経Smart Work経営調査」において、4星の認定を獲得し、前回調査の3.5星を上回る評価となりました。多様で柔軟な働き方の実現、新規事業などを生み出す体制、市場を開拓する力の3要素によって組織のパフォーマンスを最大化させる取り組みを「スマートワーク経営」と定義し、企業統治などの経営基盤も加え、星5段階で評価されます。</p>

【※1】 売上: 5,948億円(連結)3,110億円(単独) 通信キャリア 売上: 2,893億円(48.6%) 都市インフラ 売上: 1,508億円(25.4%) システムソリューション 売上: 1,546億円(26.0%)

全国、世界中の仲間たちと連携して 新たな価値を創ります

エクシオグループは、通信キャリア、都市インフラ、システムソリューションの各事業で設計・施工から維持管理までの一貫サービスを全国共通の品質で提供しています。

また、シンガポールに拠点を置くEXEO Global Pte. Ltd.を中心に東南アジアをはじめとした世界各国で事業展開を行っています。



Thailand

EXEO ASIA Co., Ltd.

Philippines

MG EXEO NETWORK, INC.



Singapore

EXEO Global Pte. Ltd.



2023年3月竣工予定

西日本本社



本社



① 西部電気工業



西部電気工業株式会社

② 日本電通



日本電通株式会社

③ シーキューブ



シーキューブ

④ エクシオテック



エクシオテック

⑤ 大和電設工業



大和電設工業株式会社

連結子会社107社 ※ほか非連結子会社19社、関連会社18社

2022年3月現在



リクルーティングサイト
エントリーはこちらから

エクシオグループ株式会社

人財開発部

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-29-20

 0120-103-336

URL https://www.exeo.co.jp/recruit/index_new.html
E-mail e-saiyou@en2.exeo.co.jp